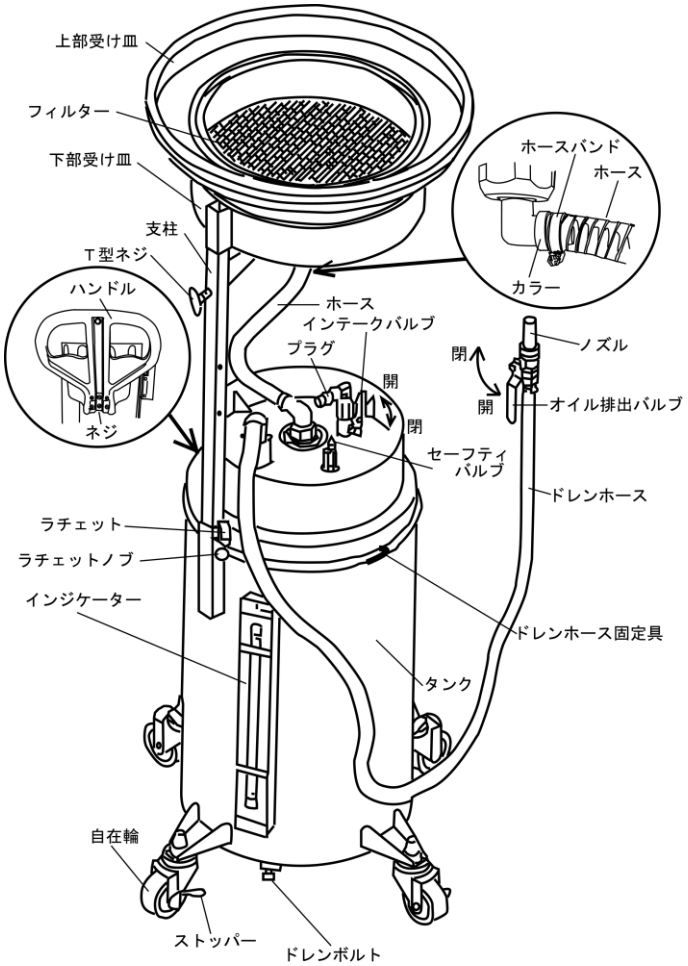
取扱説明書
廃油ドレン　品番：＃３７３２０２００　型式：Ｔ－８０Ｃ

１，使用方法

※下図を参考に組み立てして下さい。



①車輌をリフトで上げて下さい。
②受け皿の高さを調整して下さい。受け皿を上げる場合は支柱（受け皿）を上方向に持ち上げて下さい。ラチェットが作動し、任意の位置で固定する事が出来ます。受け皿を下げる場合は、支柱（受け皿）を少し上方向に持ち上げ、ラチェットのロックを解除してから、ラチェットノブを時計回転方向に回して、ラチェットが支柱から離れた状態にして下さい。そして、支柱（受け皿）を下げて下さい。任意の位置でラチェットノブを離して、ラチェットを作動させ、支柱を固定して下さい。
③Ｔ型ネジを反時計回転方向に回して緩めると、受け皿を支柱上で回転させる事が出来ます。位置が決まれば、Ｔ型ネジを時計回転方向に回して、確実に固定して下さい。
④本機を車輌の下に移動させて、自在輪のストッパーを時計回転方向に回して、自在輪を固定して下さい。
⑤上部受け皿にフィルターをセットして下さい。
⑥オイル排出バルブを閉め、インテークバルブを開けて下さい。タンク下部のドレンボルトが確実に締まっている事を確認して下さい。
⑦オイルを車輌から抜いて下さい。
⑧タンク内の廃油を排出する場合は、プラグをコンプレッサーの配管と接続し、インテークバルブを開けてからオイル排出バルブを開けて下さい。ノズルからオイルが圧縮空気と共に排出されます。
⑨タンク内に溜まっているオイルの量は、インジケーターで確認出来ます。インジケーターの上までオイルが溜まっていれば、直ぐにオイルを排出して下さい。
⑩ドレンボルトを外せば、タンク下部よりオイルを排出する事が出来ます。

２，注意事項

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①本機の**使用空気圧は１９６ｋＰａ（２ｋｇ／ｃｍ²）**です。２９４ｋＰａ（３ｋｇ／ｃｍ²）以上の空気圧で使用すると、セーフティバルブが作動します。
②**タンクの最大容量は８０Ｌ**です。それ以上の廃油をタンクに注入しないで下さい。
③オイルが冷えた状態で本機を使用して下さい。
④本機を軟弱地、傾斜面では使用しないで下さい。又、使用時、及び保管時は必ず自在輪を固定して下さい。
⑤本機の清掃は、中性洗剤を使用し、シンナー等の可燃性物質、化学薬品は使用しないで下さい。
⑥フィルターは使用毎に清掃して下さい。
⑦本機は廃油専用です。その他のオイル、薬品、水、クーラント（冷却水）、可燃性や危険性溶液の使用、保管は出来ません。
⑧本機のノズルを人に向けて使用しないで下さい。
⑨使用後は、全てのバルブが閉まっている事を確認し、コンプレッサーの配管をプラグから外して下さい。
⑩ホースバンド等のネジの締結を、定期的に確認して下さい。
⑪本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
⑫ラチェット部分に、指や手等を挟まない様に、注意して下さい。
⑬タンク内に廃油を入れる時は、必ずプラグからコンプレッサーの配管を外し、インテークバルブを開けて下さい（エア抜き）。インテークバルブを閉じたまま作業すると、受け皿から廃油が溢れます。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　０１２０－２０２－８００